

平成17年度 事後評価

事業名	一般国道9号 山口バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	直轄
起終点	自：山口県山口市宮野上 至：山口県山口市朝田			延長	11.3 km

事業概要

山口県内の一般国道9号は、阿武郡阿東町から県都山口市を連絡しながら西走し、下関市に至る約70kmの主要幹線道路である。

山口バイパスは、山口市宮野上から同市朝田に至る延長11.3kmの道路である。昭和47年度に事業着手し、昭和55年度より順次供用を重ね、平成12年10月に山口市宮野下から同市朝田間の延長10.9kmの4車線供用を行ったものである。

S47年度事業化	S44年度都市計画決定	S50年度用地着手	S50年度工事着手
全体事業費	約368億円	供用開始	昭和55年4月供用
		B/C	15.9

事業概要図



事業の効果

投資効果の有無

本事業に要する費用（総費用）	本事業による効果（総便益）
<b>事業費</b> 総事業費 1            368億円 現在価値事業費 2    786億円 維持管理費            123億円 残存価値 3            43億円 <b>総費用（C）</b> + - = 866億円 1：既に登録されている当事業に必要な費用。 2：将来または過去の費用を、現在の価値に換算したもの。 3：評価対象期間末時点で、当該事業に残っている価値。	走行時間 短縮便益                13,389億円 走行経費 減少便益                211億円 交通事故 減少便益                137億円 <b>総便益（B）</b> + + = 13,737億円
評価対象期間 = 整備期間 + 40年	
費用便益分析の結果	事業全体 今回評価    B / C = 15.9
「費用分析マニュアル(案)による」 (H15.8.1 付け国都街第30号、国道分評第15号通達)	

事業名	一般国道9号 山口バイパス
<p>事業期間の状況 . . . . . 用地期間 ( S 5 0 ~ H 1 2 ) : 2 6 年間  工事期間 ( S 5 0 ~ H 1 2 ) : 2 6 年間  S55年 : L=0.6km供用  S57年 : L=4.9km(2/4)供用  S61年 : L=1.7km(2/4)供用、L=1.0km(4/4)供用  S62年 : L=3.9km(4/4)供用  H5年 : L=1.9km(4/4)供用  H10年 : L=2.4km(4/4)供用  H12年 : L=1.7km(4/4)供用</p> <p>客観的評価指標に対応する事後評価項目  円滑なモビリティの確保 . . . 主要渋滞ポイント「<small>みやのさくらはた</small>宮野桜 畠交差点」の渋滞が解消。  都市の再生 . . . D I D地区の拡大。  個性ある地域の形成 . . . 山口県庁が改築、<small>さいきょう</small>山口市スポーツの森、<small>みやの</small>西京スタジアムが新築されたほかパークロードや国道262号宮野バイパスなどの新規道路が整備された。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>. . . ケヤキの植樹や欧風な照明などにより、県都山口のシンボリックゾーンの形成を支援。</li> <li>. . . バイパス整備により、<small>ゆだ</small>湯田温泉ほか山口県庁周辺の歴史的文化遺産や文化施設へのアクセス性が向上。</li> </ul>	
事業による環境影響	
<p>山口バイパス供用後、バイパスの一部の箇所において騒音に係る環境基準を超過しているが、要請限度は全て満足している。なお、沿道への住居の張り付きが少ないことより、周辺環境への影響は小さいと考えている。</p> <p>その他、大気環境、自然環境への影響については、沿道住民からの苦情も寄せられておらず、周辺環境への影響は小さい。</p>	
事業を巡る社会情勢の変化	
<p>S50.2.27 <small>うへ</small>宇部有料道路開通  S50.4.1 中国縦貫自動車道開通 ( <small>おごおり</small>小郡IC ~ <small>やまくち</small>山口IC )  S55.7.3 パークロード ( 山口駅県庁線 ) 完成  S55.10.17 中国縦貫自動車道開通 ( <small>かの</small>鹿野IC ~ <small>やまくち</small>山口IC )  S62.12.4 山陽自動車道開通 ( <small>ほうふひがし</small>防府東IC ~ <small>やまくち</small>山口JCT )  H5.6.3 国道435号全線完成 ( <small>やまくち</small>山口 ~ <small>みとう</small>美東バイパス )  H8.5.31 県道山口秋穂線完成  H13.3.10 国道2号 <small>おごおり</small>小郡道路完成  H13.7.13~9.30 <small>やまくち</small>山口きらら博開催</p>	
今後の事後評価の必要性	
<p>事業により交通渋滞の解消、通勤時間の短縮等の効果の発現があること。また、事業による周辺環境への影響も小さいことから、今後については事業評価の必要性はない。</p>	
改善措置の必要性	
<p>事業により交通渋滞の解消、通勤時間の短縮等の効果の発現があり、事業の目的は達成されていること。事業による周辺環境への影響も小さいことから、改善措置の必要はない。</p>	